

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては
いけない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」の内容です

**警告**

湯水を逆に配管しないでくだ
い。



禁止

水を出そうとしても、湯が出てや
けどをすることがあります。必ず
給水配管が右側、給湯配管が左
側に配管されていることを確か
めてください。

給湯に蒸気を使用しないでくだ
い。



禁止

器具が破損して、やけど、漏水の
おそれがあります。

給水圧力は給湯圧力より高くするか、
同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合も湯側圧
力を水側より低くしてください。



!

給湯圧力を給水圧力より高くする
と、正常な温度調節ができなくなり、
やけどをするおそれがあります。

給湯温度は85℃より高温で使
用しないでください。



禁止

85℃より高温でご使用になると、
水栓の寿命が短くなり、破損し
て、やけどをしたり、漏水で家財
などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

寒 冷 地 仕 様 の 場 合
水抜き栓は水抜き以外の目的で
開けないでください。



禁止

水抜き栓をいきなり開けますと高
温の湯が出てやけどをしたり、湯
水が噴き出して、家財などを濡ら
す財産損害発生のおそれがあります。

加工及び接合等の改造はしない
でください。



禁止

器具が破損し、やけど・けがをし
たり、漏水で家財などを濡らす財
産損害発生のおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機を
ご使用の場合、水栓には絶対に
通電しないでください。



禁止

通電すると水栓が発熱し、破損
して家財などを濡らす財産損害
発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用等により水
圧変動が起こり、湯の使用中に
湯温が急上昇することがありま
す。



!

やけどのおそれがありますので、や
けどのおそれのないところまで水圧変動
をおさえた配管設備にしてください。

**注意**

器具に強い力や衝撃を与えない
でください。



禁止

器具が破損し、漏水で家財な
どを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

めっき仕様の場合
めっき部品は、ぶついたり落とし
たりしないでください。また、鋭利な
物や硬い物を当てないでください。



禁止

めっきの表面が割れて、けがをす
るおそれがあります。

めっきの表面が割れた場合は使
用しないでください。



!

けがをするおそれがありますの
でただちに使用を停止し、新しい
部品に交換してください。

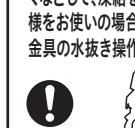
止水栓の取り付け箇所や給水・給湯
管との接続箇所は、点検口を設ける
など点検しやすい状態にしてください。



!

点検ができないと万一漏水発生時
には発見が遅れて家財などを濡ら
す財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの
場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻
くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕
様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓
金具の水抜き操作を行ってください。



!

水抜きしないと凍結破損で漏水し、
家財などを濡らす財産損害発生
のおそれがあります。

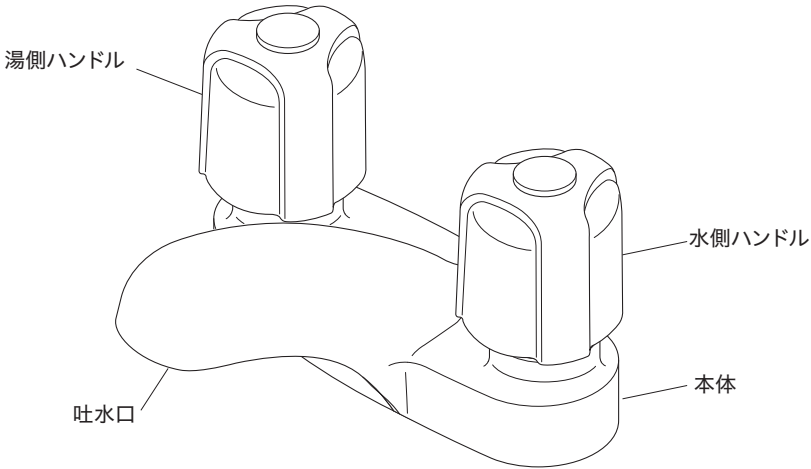
取り付け前に

- ① 使用水压 (A=(給湯器の最低作動水压)+(配管圧力損失))
(1)瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
(比例制御式)最低必要水压:A+50.0KPa(動水压)、最高水压:0.75MPa(静水压)
(2)貯湯式給湯器との組み合わせ
(給湯・給水圧力)最低必要水压:A+50.0KPa(動水压)、最高水压:0.75MPa(静水压)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

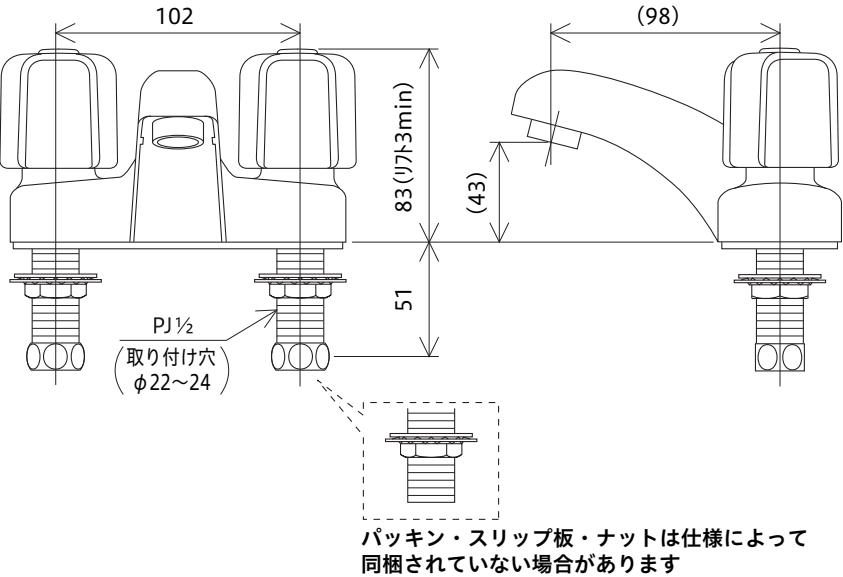
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

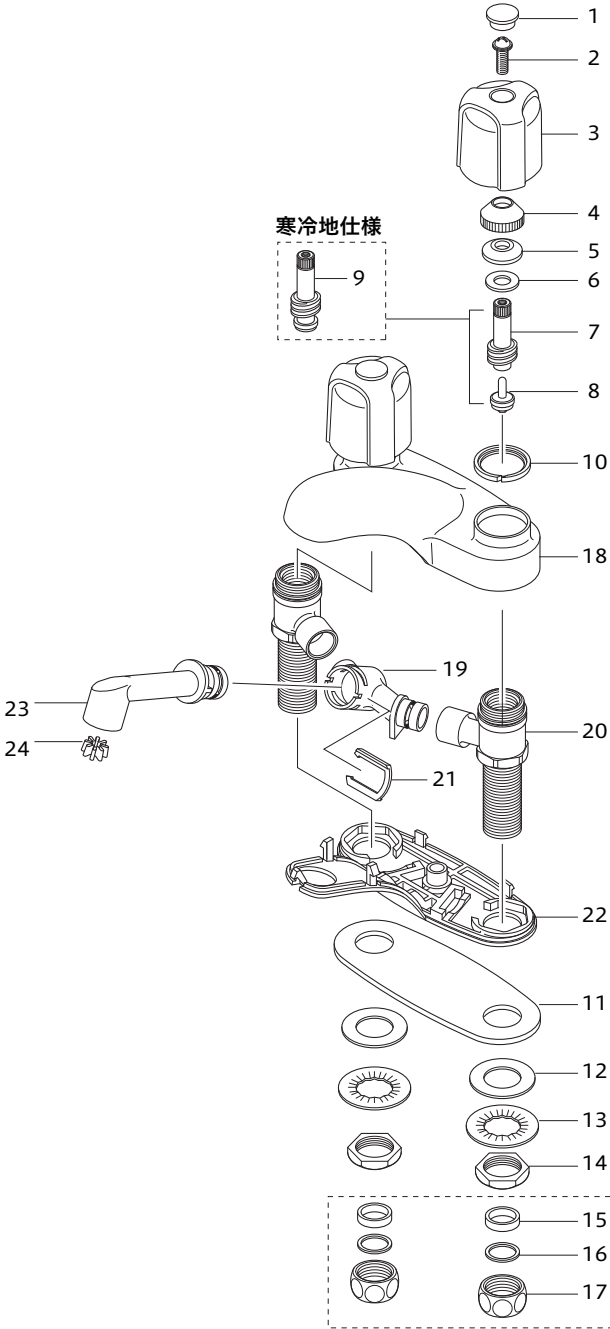
取り付け完成図と各部の名称



寸法図



分解図 仕様により部品の形状が変わることがあります



1	キャップ
2	ビス
3	ハンドル
4	ナット
5	三角パッキン
6	座金
7	スピンドル (一般地仕様)
8	水栓こま (一般地仕様)
9	固定こま (寒冷地仕様)
10	Cリング
11	シートパッキン
12	パッキン
13	菊座
14	締付ナット
15	パッキン
16	スリップ板
17	ナット
18	カバー(上)
19	本体 1
20	本体 2
21	クリップ
22	カバー(下)
23	吐水口
24	水切

仕様により同梱されて
いない場合があります

取り付け手順

1

給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2

止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。
止水栓はストレーナ付が最適です。
寒冷地用は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付
止水栓

水抜き栓付
止水栓

止水栓
(別売)

止水栓
(別売)

(100mm)

(100mm)

3

本体の固定

本体を締付ナットで固定します。
【**⚠注意**】・ハンドルを持って締め付けますと破損のおそれがありますのでこれらは持たないでください。
・締付ナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

専用工具G4(別売)

ハンドル

本体

シートパッキン

取り付け穴
φ22~24

取り付け穴ピッチ
102mm

パッキン

菊座

締付ナット

4

止水栓との接続

銅パイプ接続の場合

① 銅パイプ(別売)の必要な長さを測り、切断してください。このとき、ストレート部60mm程度・パイプの差し込み代は20mm確保してください。
【**お願い**】銅パイプの切断はパイプカッターをご使用ください。
【**⚠注意**】銅パイプ切断および曲げ時に銅パイプストレート部には変形や傷などはないようにしてください。変形や傷などにより、漏水の原因となります。

本体

銅パイプ
(別売)

止水栓
(別売)

測る

ストレート部
60mm程度確保
※できるだけ
長く確保し
てください

差し込み代
20mm確保

銅パイプ

② 銅パイプにナット、スリップ板、パッキンの順にはめ込んでから、銅パイプを本体にはめ込みます。

③ 銅パイプと止水栓を接続してから、銅パイプと本体を接続します。

【**⚠注意**】・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管(ニップル等)には、銅パイプを接続しないでください。
パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。
固定されていないと銅パイプが抜け、漏水の原因となります。

②-1
部品をはめ込む

②-2
銅パイプをはめ込む

③-1 接続

③-2 接続

本体

銅パイプ(別売)

パッキン

スリップ板

ナット

パッキン(別売)

止水栓(別売)

スパナ等

スパナ等

フレキ管接続の場合

フレキ管(別売)のナット部を本体と止水栓(別売)に接続します。
【**⚠注意**】・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【**⚠注意**】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5〜6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

湯温・流量調節

湯、水ハンドルが全開吐水で適温、適量になるように、止水弁で調節します。

湯側ハンドル

全開で適温、適量

水側ハンドル

止水栓(別売)

湯側止水弁

あける

しめる

あける

しめる

水側止水弁

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
吐水量が 少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「湯温・流量調節」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか 出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「湯温・流量調節」
低温しか 出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節が うまく できない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7 ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—

【**⚠注意**】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。